



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

自分が考えていたことや思っていたことは、実際のことより全然軽く、正確おどろきが大変さんあった。

大変な出来事なのはもちろん知っていたし、これまでのお話を聞く機会にはあったけど、今回は、これまでのお話より、より詳しく分かりやすく、原爆の考え方が変わった。

7000℃とか想像しても高温すぎたからなっていたけど、太陽の表面温度が6000℃と聞いて、本当におどろいた。

実際太陽は、地球から何4kmもはばれているのに、原爆の時は、太陽の表面温度より高い温度が地上から600mしかないと聞き、特に、人は、焼き下されて、肉が見えていたことも知り、その出来事から100年もたっていないことが本当に他人事と思えていた気がした。

実際経験した人からメッセージやお話を聞くのは、何か分かると思うから、今回お話をきけたという経験を大いにしたいと思った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今でも小学校、中学校と広島長崎の原爆の話と聞き、字んではまはが、原爆先生の講演はこれよりもよりリアルに当時の様子が想像できました。これは原爆投下都市の条件やその候補となった都市など基本的なことから、原爆を投下した飛行機がその後どのような行動をとったか、という詳しいことまで教えてくださったからだと思います。

今回の講演を聞いて、一番衝撃を受けたのは、広島に落とされた原子爆弾「リトルボーイ」の中で核分裂を起したウランが全体の60分の1だったということでした。しかもこれがゴルフボールくらいのたった1kgの量だったということです。もし、当時の技術がそのウランを全て核分裂させることが可能であったなら、日本は8月6日に無くなっていたかもしれないと思うととても怖いです。

今の世界では広島長崎に落とされた原爆の何千倍もの威力を持つ原子爆弾、水素爆弾が1つ、2つではなく何千という単位で存在しているという事、昔からそのことを知っていたとはいえ、今日になって今更、そのことがとてもおそろしく、異常なことであることが分かりました。なぜ、そんなおそろしい兵器を作り、持ち続けるのか、実験を続けるのか、私には分かりませんが、おそろしく、それは人が人を、もしくは国が国をおそれ、自分を相手よりも優位に見せるためだと私は考えました。けれど、そんな不安、おそろしくふき飛ばすことは不可能でしょうから、先生のように原爆が一体どんなものなのかを伝え続けることで、いつか世界から核兵器が消えるのだと思っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

授業やテレビなどで原爆の話は聞いたことがあるし、小学生の時に原爆ドームや資料館に行ったことがあるので少しは分かっているつもりでしたが、それはほんの一部だったのだと思った。また、アメリカ側の話なども聞けて今までとは違った視点で原爆の話聞くことができた。

前に原爆投下都市の候補地や条件については少し聞いていたけど、横浜にも原爆投下の可能性があったこと、横浜には原爆投下をしないと決定したために次の日空襲があったことを聞き、それに一番びっくりした。

また、アメリカは戦後の日本人感情を考え重要な文化財のある京都には原爆を投下しなかったことを初めて知ることができた。原爆の話ではいつも広島のことしか聞けなかったが今回は、第2候補地だった小倉の天候が良かったために長崎に投下されたということも知れて良かった。

私は、広島原爆資料館に行ったことがありそこには焼けかけたお弁当や衣服などがあり、一番衝撃的だったのは熱で溶けている人間の姿だった。しかしその人間の姿は実際よりもきれいだと聞いて見たものは本当に悲しいものだったのに本当はもっとひどかったということに驚いた。

話には、皮膚がはがれる、顔に大やけど、うじがわいているなど耳をふさぎたくなるほどひどいものはかりだった。けれど、だから耳をふさぐのではなく原子爆弾や戦争はいけないと理解し絶対に忘れてはいけないなと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は小学校の頃、「平和」についてのイベントでスピーチをしたことがありました。
 その時から戦争について調べたり話を聞いていたのである程度のことばは知っていた
 つもりでした。又、フリンクの間の日本史の授業でも原爆についても学んでいたの
 どころのものなのかと知識として頭に入れていました。しかし、今日お話を
 聞いた時に鳥肌がたちました。今では「かわいさ」や「かわいさ」をどこか
 他人事のように考えていたのが、涙を流す程度で終わってしまっていました。今日
 この巧みに改めて話を伺った時涙が止まらぬくらい驚きが上回りました。
 被爆された方々をテレビで報道されていりしても深く考えたりせず
 「もう70年経ったんだから」といつか言っていた自分が深く反省しました。
 原子爆弾で広島や長崎の人々がどのくらい苦しんだのか、実際映像を
 観るのは初めてで、想像を遙かに超え、今もその映像が浮かびます。
 ウランがたったゴルフボールのサイズで燃焼して1000度で人町全てに
 影響を及ぼしたことに驚きました。そして体験した人がどんなに苦しい
 思いをしたのかを痛々しく伝わります。広島に行く時、被爆された
 方々のお話を伺うと思えます。その時自分がどんな姿勢で話を聞く
 べきか、そしてどのくらい伝えていくかをもう一度考え直して臨んでい
 たいと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆というもののすごさは前から知っていたが、今回の授業で私の考えいた原爆
 はとてもあまい事に気付いた。言葉や文章で表すのはとても難しいけれど、
 とにかくとても悲惨で、何より原爆の熱さが7000°だったということが素直に信じられなかった。
 昔の自分は「原爆を体験しなくて本当に良かった」「あの時代に生まれなくて良かった」と
 それだけ考えていた。だけど今回のお話を聞いて、自分に置き換えて考えられたい
 自分たちが、原爆の事も知らない人たちに広めていきたいと思えた。
 最後の池田義三さんのビデオは本当に自分の中で動きが止れた(?)ところがあった。
 私たちは原爆の事もこんなに良く知っていたとしても絶対に原爆を生で体験した人の心
 の痛みや苦しみは絶対にその下から分からないと思った。原爆というものは言葉では
 言い表しきれないと本当に思えた。今のもふまえて今回私たちが学んだことはすごくたくさんある
 けれど、まだまだその原爆への思いはあまいとおもう。改めて平和を築いていくことの
 大切さを感じた。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆が何をいなか、どんなものなのかは何度も聞いていたし正直飽きたかと思っていた。
 けれどリトルボーイに積まれた60kgのウランのうち、1kgがプルトニウムが核分裂して、そのプルトニウム
 1kgが都市を3つにばらしたかと思っても恐怖を感じた。更にその1000倍の威力を
 持つ核兵器がこの世界に16000発もあるというのが恐ろしく、打つ手しすぎる事実だ。
 太陽を超える高温の巨大な爆発物がわずか600m上にあるなんて、科学には話で
 いら聞いても絶対に理解できないけれど、それを物理的に実感してはみる人は
 跡形もなく消えている。秒単位で吹く風が大量の人が死に、放射線が目に
 見えぬものでその先何十年にもわたって体に蓄えられ、体内で異常を起すという被爆者で
 生き残った人たちの苦しみをおぼえておかなければいけないと思う。戦争という状況があつたに
 しろ、罪のない一般の人たちを大量に死ねさせた核兵器は、二度と使われてはいけません。
 本々大統領の広島訪問の時も、核スイッチを押して見ると、打つ核兵器の
 残酷さを理解している人はいくらでもいるけれど、危機感を抱かぬ、打つスイッチ一つで
 全世界をめちゃくちゃに広島以上の被害をもたらしてしまう兵器を放射するのを
 怖れ覚えた。そして核戦争は原爆の恐ろしさを理解しなくてはならないと思うので
 5月に実際の資料をみるべく多くのことを学んだ。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

メモを全くとらずにお話しを聴く時間、メモをとり、資料と合わせて聴く時間、動画を見る時間、クイズコーナーなど、全体を通して、内容がハリやすく、とてもわかりやすい講演でした。

とくに、始のにてしてくださ。たより演劇的表現の強いお話しで、原爆の落ちる瞬間を耳にしたときは驚きと恐怖で、自分がここにはいないようにも思えました。

若い女性と小さな男の子のお話しで、最も身近な状況でしたので、より一層不安と悲しみと恐怖がこみ上げてきました。もしも私が"同じ"状況になったら、弟を家族を、大好きな人々を守り抜けるのだろうかと考えました。

最後の池田義三さんのお話しで、「資料館にあるようなものではない。こんなに優しいものではない。」とおっしゃっていて、そのお言葉は決して忘れることのないようにと思います。見たものをそのままその内で留めておくのではなく、それ以上のものとして、視野を広く、深く持つべきだ"と思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日のお話を聞いて知らない事だらけだと改めて感じました。原爆投下候補に小倉という所があったなんて知らなかったし、長崎と広島で少し違ってたんだと思いました。ラジオソバというのをパラシュートで先に落として、その後本当の爆弾がおとすとんだと初めて知る事が出来ました。長崎は本当の最後に原爆が投下され、長崎の前には3回失敗していた事もびっくりしました。池田さんのお父さんのお話、ビデオを見て、爆弾が落ちるまで、時間が少しあり、落ちた瞬間はあという間に燃えてしまうのが怖いなと思いました。また、池田さんのお父さんの話を聞いて、夢のような事が実際にいつくかやがらない恐怖がありました。実際には体験した事は本当に怖いなと思いました。絶対にこの先に同じような事をおしてはいけないなと思います。今日のお話を修学旅行に行った時、思い出したと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

3/13

原爆ドームと原爆資料館には何回も行ったことがあるので、正直この講演はそんなに自分には^{4回}響いてこないものだと思っていたことを深く反省している。話を聴いていた時は怖くて手汗が止まらなくなり、原爆を落とす映像のワンシーンでは心の中で何回も止める、止めると願った。資料館に飾ってある3人形の被爆者でも綺麗すぎるとおっしゃった先生のお父さんの言葉がたたく頭と心に刻まれた。人を傷つけること、殺すことに意味はない。どれだけ殺したい人かいても、殺してしまえば罪悪感や虚無感にさいなまれる日が必ず来る。人を殺すことは楽しくも嬉しくもない。命の大切さを多くの人を知りべき。多くの人がお互いの命を大切にすべきであって、そのことが多くの人を救うことになって、戦争を無くし、平和への道を一步ずつ踏み出すことになるだろう。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回お話を聞いて、私は何も知らなかったという事に改めて気が付きました。

元々歴史の中にも日本の戦時中の文野に興味があつたので、戦争がどんなに恐ろしく、非人道的な事なのか分かってはいたんですけど、でも今回原爆の話も聞き、私は何も知らなかったと思ひ知らされた。原爆は、一瞬で物も人も全て灰に尽した。色のある世界を灰色の世界に変えてしまふ。池田義三さんの話を聞いて、そのリアルな話をしるはうけを賞した。それまでいく人々が人間ではなかったという表現を聞いても、正直今の私には想像からかたはつた。今いた人が今いた場所というありえな事、それが投下された時、教えてくれる場所まで運ばれたと思ふと、現実味がなくて、とてもあどく怖さを感じた。池田義三さんのビデオを見て、池田さんの苦しみを目の前で見た気がした。皮肉の焼き付けた人々に助けを求められなくても何も打たれた。池田さんの苦しみは、まじ私達には分からない。どうと思ふ。でも涙が止まらぬ程の姿に、目頭があくた。

私たちに今できる事は、もっと広島を、原爆について知る事だと思ふ。戦争は、そう遠くない過去に起こつた。未来に起こる事であることを確認しなければならぬと思ふ。体験者の方から聞くお話を、今私たちに、日々戦争も原爆から遠ざかっているけれど、今回のお話を聞いて、たぶん戦争を患ひる事があつた。私たちに原爆で被害に合はれた方の思いを少しでも未来につたへ義務があると思ふ。この事を忘れず、広島で良い事をしてい。池田さんおかげでこうなりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

実際 戦争の話は苦手でしたが、この事実は今の人から知るべきことであるし、それによって先、世界で戦争を起さないうために、若い人たちがきちんと教育を受け、過去を知ることが大切だと思った。特に原子爆弾については、世界のト全員が、広島、長崎で起ったことを知る必要があると思う。日本は、戦争の教育を毎年行っている所(学校など)が多いが、世界ではまだ、戦争を起すところもあり、核を持つ国まで決ま存在しているから、核を持つ国は核を減らす努力をする、その他の国では、戦争を起さないうための対策など、各国で戦争をなくすためにできることは、それぞれあると思う。

広島、長崎では多くの被害を受け、自分の家族と朝別がれながら、一度も会うことなく、遺体すらあることなく亡くなる。一方を自分に置き換えてみると、朝、学校に来るときなど、全このこの平和な時に感謝しないといけないと思う。そして、私が何か出来ることはほとんどないかも知れないが、過去に世界、日本で何かあれば良かったら、手伝ってほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

E1ラ、ゲイ、ボックスカー、ファットマン、11070キソ爆弾、ラジオゾンテ
 相生橋……。原爆の話は今迄聞いた事、映像や写真で
 見た事はあつたけれど知らなかつた、たワドが、多く出てきた。今までは
 アメリカ軍の B29 が原子爆弾を積んで候補地あつた広島、
 小倉、長崎のうちの広島と長崎に落とすとしたという事実しか
 知らなかつた。けれど池田さんの話で、リトルボーイは約4セ
 もあり、投下する前に天候や風圧などを計る装置ラジオゾンテ
 を110ウラオートにつけておとし、その後原爆を投下した事、ファットマン
 を積んだボックスカーに離陸後燃料ポンソの故障が、見っかり
 飛空時間が短くなつたにもかかわらず小倉で投下場所の目視に3回
 失敗し45分間費やし最後の候補地であつた長崎の天候が良かつた、
 たり帰ろうかと思つた時雲の切れ間から目視できて投下したという事実しか
 知らなかつたものに経緯も加わつた。その話と池田義三さんの手記、映像を
 見てあらためて原爆は恐ろしいものなんだと実感した。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

修学旅行で広島・長崎に行ったり、歴史の授業、総合の授業などで
1945年8月に起きた原爆投下の事は全国の人が学びと思う。そして私達も一年
間かけて学んできた。しかし今回は今までのものとは違った。被爆者本人に基づいて
話を聞くのは初めてだったからだ。1945年8月に起きた事は知って
いたが今回ので詳しい事を知る事ができた。なぜ広島だったのか、長崎だった
のか、なぜ多くの被害者を出したのか。私はなぜ広島と長崎に落
ちたのかを聞いた時信じられなかった。長崎の場合、「最後の候補となっ
たから。」「第2の候補小倉で3回失敗したから。」「燃料ポンプが故障していたから。」「
雲に切れ間ができたから。」「たった4つの偶然が重なってしまったために79(の死者
を出したのだ)もし、この4つのうちで1つでも無ければこんなことにはならなかったし
ましてや最後の「雲に切れ間ができたから」が無ければ爆弾は海に落とされ
被害は小さく済んだのだ。たまたまの小さな4つの事が起きてしまう事の重大さを知った。
そして最後に池田さんがリトルボーイが持っている爆発したウランの重さは1kg、今
はその1000倍もの重さを持っている核爆弾を世界中が持っている事を知った時、よく
ニュースで北朝鮮の核爆弾が日本に近づいているや、世界中の核爆
弾のニュースをやっている。それを私は流すように見ていたし、1945年8月に
起きた事はもう起きないと勝手に思っていたが、それは違い、いつ私達の身
に起きるかも知れないし、そして広島で起こった事の何倍もの事が起きる
という事を知っておかなくてはならないし、絶対にあってはならない事だと思う。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の原爆先生の話しも聞いて、初めて知ったこと、おぼろしいことが

たくさんあり、とても感激をうけた。

世界ではじめて日本に原爆がおとされたこと、そのことによりたくさんの方が

で、今もまだ被爆したことにより苦しんでいること、原爆先生の話しをきいて

とても感銘していることが多かった。

原爆のあつさが7000℃をきいて想像できないくらいあつさな人だ

思った。

実際の証言では親子が一瞬にしてやけてしまったこと。座っていた男性は

一瞬にして黒い影になっていたこと。かろうじて残されたような

話しをきいてとてもしりげきをうけた。

今もこの世界には広島も長崎におちた原子爆弾。100倍くらい力

ものが15以上ある。その原爆が使うことのない平和な世界になてほしい

と思った。

5月に行く広島の事前学習させて様口なことで判り合いました

後世にもつたえていかなければならぬことなりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今まで原爆について色々な話を聞いてきたが、毎回なんとなく聞いていた
ので今回原爆の恐ろしさがいつもよりも分かった。特に熱が本当に
凄く太陽よりも熱いということがびっくりしたし、想像も出来なかった。
その熱をあびた人が一瞬で消えたり、建物が吹き飛ばされている
ビデオを見た時は、見ていられなかったし、私達が今普通に平和に
過ごしていることはありがたいと思う。

また、候補になっていた都市は広島、長崎、京都ということを知っていた
が、今自分が住んでいる横浜も候補になっていたとは知りなかった。
横浜が空襲があったので原子爆弾は投下されなかったがもし
投下されていたと思うと色々なことが変わっていたと思う。また、
戦争があった時代は常に死を覚悟していなければいけないと思うと
私は生きていけないと思う。なのに戦った人達や生き残った人達は
本当に凄いなと思った。

最近、平和について考える時があまりなかったので今回話を聞
いてあらためて平和について考えることが出来た。平和になるという
ことはとても良いことだと思うが、世界中を平和にするのは本当に
難しいと思う。これからも平和についてよく考えていきたい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆については、授業で多少触れた分と、11月の全校修養会で聞いたことしか初めは知らなくて、自分は原爆に対する知識が甘かったなと思いました。約70年前の技術でも都市一つを壊滅させ、そこで生活する70%の人々も被爆させる爆弾が存在したのに、もし今核戦争が起きてしまったら、と考えると凄く恐ろしくなりました。

また、『黒い雨』での表現や、日本史の授業で先生が原爆資料館について話してくれた事で、原爆投下当時の様子も少し分かった気になっていただけ、池田義三さんの「こんな生やさしくない」という言葉を聞いて言葉が出なくなりました。入った瞬間に言葉が出なくなってしまうような資料館の空気や、義三さんの手記ですら表現出来ない程の被害をもたがした原爆とは一体どれだけのものなのか、いくら戦争とはいえども、何故米軍はそんなものを作り出したのか、もっと他に方法は無かったのか、と。これらのことは考えることしか出来ないのだらうかと思いました。改めて、この日の出来事は忘れてはいけない出来事だなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

正直原爆と聞いても「昔に起こった大変なことで、多くの方が犠牲になった。」ぐらいの気持ちでどこか他人事のように聞いてしまう自分がいた。

しかし、話を聞いていると、実際に原爆の起こった場に行った池田義三さんは私なんかの気持ちが申し訳なくなるほどのつらい体験をしていた。

話を聞いて池田さんの苦しみを分かってあげられる訳ではないけれど、私たちにこうして話して下さったのは、^{私達が}戦争の恐ろしさや苦しみを少しでも理解し、次の世代にも平和な世界を残せるよう努めるためではないだろうか？

原爆は戦争の中で最も恐ろしい出来事だったのではないかと。しかし、今では当時よりも何百、何千...倍もの力をもった兵器があるとして急に怖くなった。何となく他人事ではないのだと。もし今外から原爆が降ってきたら？

そんなことを考えると頭が真白になる。二度と元の生活には戻してはいけなそう。それだけは強く思う。話しの最後がへんに吉田さんの動画を見た。何十年もたった今でも、涙ががが、泣いて必死に話す姿が深く印象に残った。今私がここで幸せにくらしているのはとても幸せでかけがえのないことなのかもしれない。あつりまえのよう毎日だけで、それは約束されているわけでもなく、とても大切なことなのだと思いが改められた。

手紙で吉田さんが助けた命が続いているのを知って私も心が温かくなった。

原爆は自分と無関係ではない。今と昔はつながっている。この日々を大切に毎日を生きてゆこうと思った。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

写真を見ても語りだけ当時の悲慘さが伝わってきた。遺体を背負っているときの状況を聞いて想像したら鳥肌が立った。今後は想像するだけでいいけど当時は軍の命令で想像以上の辛いことをしなければならなかった。原爆はたくさんの死者を出したが、生き残った人はさらに嫌な経験をしなければならなかった。本当に恐ろしいもので改めて感じている。暑い経験は決してなく、建物を破壊しては行くほどの衝撃波をもつ原爆はこの世に必要ない。最後に見た五分間くらいのビデオで年月が経っても思い出と涙が出てくる。この経験は日本だけでなく世界中の人が知るべきだと思う。

高2の5月に広島に行くと、今回聞いた話をしっかりと心に刻み、修学旅行に望みにくく思っていた。原爆ドームや資料館でテレビ見たことのないようなものがあつた。これを表現されているものより実際はもっとひどいのはあつたら、目をふせずに目に焼きつけておこうと思う。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/13

小学生の頃から何度もきかされてきた原爆のお話でしたが、実体験を詳しく聞いたのはこれが初めてでした。先生の口から知らされる当時の様子は想像しただけでも悲惨であるということが伝わり、私の想像なんかよりはるかにおそろしいものであったと思います。特に七くなった方をおぶった時と生きている方をおぶった時の心情の違いを聞いたとき、近頃友人をおんぶした時のあたたかい背中を思い出しました。死者をおぶったことはないのですが具体的などのような感かには分かりませんが、まじりと冷たく重たいもので命のあるものとは違うのであうと感じ、生きている人と触れ合っているあたりまえの日常がとても遠く大切なものであると改めて知りました。それと同時に命あるものを一瞬にしてこの世から消し去る原爆は本当におそろしいものであると思いました。原爆投下から70年以上がたち、被爆された方で生きておられる方が少なくなっています。人は生き続けたいと大切なこととどんどん忘れていきます。幸せな日常があたりまえとなり、さらなる欲を求め再び同じことをしてしまいます。私はそれが本当に怖いです。被爆者の方が七くなっても私達が正確に次の世代に伝えていかねばなりません。悲しい出来事から目をそむけている人にしっかりみてほしいとうたえていかねばならないと思います。私は体験者でも子孫でもないのですがなかなか胸の内までをしっかりと知りいつか伝えることはできませんが、せめてこういってお話や5月の修学旅行のお話などを目をそむけることなく、心にうけとめて後世のために記憶を残すお手伝いができたらなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

アメリカ兵も日本兵も、現地に行き戦争を肌で感じた人と、安全地でただ命令だけしていた人とは、明らかに感じることにちがうと思った。原爆投下を計画したアメリカ軍の上層部は、この広島、長崎での原爆を、7-14日の実験としか考えてなく、この計画は本当に人間性がなく、無機物のようなものだった。

しかしどこか「なんだか私には現代の人にもあるような気がする。もちろん私たち学生が、40代、50代、60代、は戦争を経験していない。これは絶対的に「さ」らしいことなんだか。同時に私たちはとも無知なんだと思う。

やはり未来を選ぶためには、過去の暗い部分、苦く苦しい部分を知りたいけれどいいない。だから私たちは歴史を学ぶ。これは教科書を読むことだったり、経験者の話を聞くことでもあるだろう。

しかしどうして学ぶと重ねたとして、どうやらとも(物事の表面しか)とれと出ま事としてしかと分えられたいだ"と思う。

私はこの^(ま)こいれいな感じか、原爆投下を立案したアメリカ軍上層部(アメリカ政府?)と同じ気分してしまう。

私たちには歴史を学ぶ義務がある。しかし「あれだけ学んでも、けれど戦争を知ることかできないんだ」と、私は思ってしまった。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今まであまり詳しい話を聞いたことがなく原爆について深く考えることはありませんでした。でも夏休みの課題で出された『黒い雨』を読んで原爆の恐ろしさ、悲惨さ、人への影響を知りました。また、今回お話を聞いている中で『黒い雨』で描かれていた場面が数多く、思い浮かんできました。それぞれ視点はもちろん違いますが、原爆がいかに恐ろしいものかということがひとつひとつの言葉から伝わってきました。池田義三さんの実体験のお話を聞いて、ひとつの選択や状況の違いが生死を分けると感じました。何かひとつでも変わっていたら、原爆が広島や長崎に落とされなかったかもしれないし、亡くなった方が生きていたり、またその逆もあったかもしれないのです。そう考えると今生きていることはとてつとて奇跡だと思いました。人は何かの使命を果たすために生かされているということを改めて感じました。最後に池田義三さんのビデオの中で言葉を失うほど悲惨で地獄のような当時の状況を必死に語って下さる姿を見て、私は決して原爆の残した傷を忘れてはいけなく、また二度とくり返してはいけなくと強く思いました。5月には実際に広島に足を運び、もっとたくさんのことを学びます。そのときに、今回のお話や『黒い雨』の場面を思い出して、私が今、世から平和のために語ることを考えていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今まで歴史・世界史等の授業で第二次世界大戦に関し勉強を
して来たが原爆についての解説を話は毎年夏休みに戦後70年という
節目が書かれたテレビ番組で悲惨な残虐な映像や写真を見かけます。
私は2015年の戦後70年の時の夏休みに親とテレビで当時の映像を
見ました。私は血や臓器などの人体の一部が、大きくテレビに映し出されると
どうしても気分が悪く倒れたり全身の血が引ける様な気になりました。

私の祖母は横浜で当時16歳で体験談を私が8歳の時に興味本位で
聞くと小さいながらも次々と祖母が言う言葉や状況が、そのまゝ想像が
できました。小さい事でも気を付けて暮らさないといけない生活。

私は今でも思える事があります。ただ、この時代には生きていく良から
な事でも思える事もありますが、中々人前では言えないのが実際です。

今日の講演会で原子爆弾の中身を紹介され、あれ程大きいのに
重さがあるのに1kgの核分裂によって一瞬にして今まで作られてきた歴史が
炭素となり人は消え、建物は崩壊され、科学の技術の進歩が、善い
良いはずが、その確認の為にだけ使用されたと考えれば、とても

悲しいし、人間がおそろしくも思えます。とてもゴルフボールの威力でも
世界には、おそろしさで伝わりきれない。せいぜい何倍もの威力で、また100倍は
教え切れない程の量が、今2017年のどこかに保持されているのか分らない
生きていくのは怖い。今後、世界から戦争や紛争さえも無くなることを



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日の講演を受けるまでは、なんとなく人事のようになっていて、あまり感心が無かったです。

ウラン1kgを投下しても14万人もの死者、24万人の被爆者が出たというのに長崎にも原子爆弾を落として、さらにどのような地形がより効果が出るかを調べた上で原子爆弾を投下したというアメリカが人としてありえないと思いました。

池田義三氏の話を聞き、話を聞いているだけでも苦しくなってきました。私達は5月に広島に行くけれど、そこで私達が見て来るものより、もっとひどいものだと思うと見る前から怖くなりました。

戦後70年以上たった今、私達が次の世代の人達に日本に2回も原子爆弾が投下され、それで今もお苦しんでいる人達が居るということを伝えていかなくてはならないと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆について今まで99%勉強はしてきたけどやっぱり
被爆者の方からの話はちがうと思った。生々しい表現など
あり聞いたことだけで少しをわかったが、実際にそんな事が
普通に起きていると思つてほんとに地獄だと思つた。原爆は絶対に
あつてはならない物だと思つたが、それでも今この世界に核兵器
を所有している国がたくさんあるというのはとても恐ろしい事
である。世界中の人にこの原爆の被害を知って欲しいと思
つた。このむずかしい話や写真を見ればいかに原爆が恐ろしく
あつてはならないものかというのがわかってくれるはずだから。
5月には原爆ドームに行くが、きっととても悲しんで見ていらなくな
らなうと思つた。でもこうやって原爆が落とされた事は日本人として人間
としてしっかり知っておくべき事だからしっかりと見ていかに戦争
というのは残酷でいけなないものかというのを知りたいと思つた。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

授業を聞く前は100分もの長い話なんて長いな...と正直思っていました。ところが、話を聞いてみると100分なんてあっというまに過ぎてしまうほど話の内容が濃かったんです。まず「原爆先生のお父さんの義三さんの実体験を元にしたお話。17才という私達と同じくらいの歳で兵になり、広島で原爆を体験した。その話は自分達が想像していたものよりとても恐ろしく、衝撃的なものでした。ピカドンと当時呼ばれていたほどの大きな光と音。先生が話している上で「ドンッ」と大きな声で表現して皆おどろいてました。本物はもっと大きくまぶしく、何が起ったのかも分からないという恐怖で感情がグチャグチャになりました。原爆の火暴バ世に迎ぐとほどひどく死んでいく被害。手と前に落ちて排煙している人間、人間とは思えないような体になってしまった人々の惨状を目の当たりにしたら、今の私達のほとんどは行軍中に物々しいような気がしました。同じ人間がそんな兵器で殺りにしているのはすごい怖いし、その上ターゲットが日本人だった。それを聞いても怖いなという感情は目撃者もどにか70年前のことだとしても違う世界でおきた事のように感じしてしまう部分があります。そして本当の恐怖はその場にいる人にしか分からないだろうし、言葉や文字ではその怖さは表現できないでしょう。でも、今回この授業を通して原爆の恐怖が今までよりも分かるようになったし、なんとなく原爆と言っただけで「それかど」のようなものを理解することができました。一番怖いのは、広島、長崎の原爆についてあまり知らない新しい世代が同じようなことを繰り返すことだ

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

思います。の飛したをちゃんと知って、後にくりかえらないようにする。これが今の私達がすべき一番大切なことだと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

今回、この原爆先生のお話を聞いて、改めて、原爆はとても悲惨で怖いものだと思います。広島に投下された「リトルボーイ」の中には60kgのウランが含まれていたのに、その中の1kgだけが爆発していたことを、今日、初めて知りました。そして、その1kgのウランはゴルフボールの大きさと変わらぬのに広島を破壊することができてしまうということを知ってとても怖いと思いました。原爆が投下された当時の何倍も力のある原爆を今では作ることも、使うこともできると思うと、本当に怖いし、もう原爆を使うような戦争が起きて欲しくないと、思いました。今まで、この講演を聞くまでは、広島や長崎で原爆が投下されたこと授業などで聞いても、自分が生まれるよりもずっと昔に遠くで起こったことだと思っていたし、私は本当に何も知らなかったのだと思います。今回のこの講演では、実際に兵隊として広島にいた原爆先生のお父さんのお話が、すごく現実という感じがして、怖いと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

平和記念資料館にあるジオラマを初めて見た時のことをよく覚えている。小学校6年生の時、夏休みの自由研究で原爆についてレポートを書くために広島を訪れた。がれきの中を酷いやけどを負った女性と子どもが歩いているそのジオラマは私の記憶の中では決して綺麗なものではなかった。恐怖のあまり目を背けることもできなかった。人間の手によって人間が変わり果てに姿へと変わってしまうことに恐くて仕方がなくなるとそのジオラマから離れたことも鮮明に覚えている。5年の年月が過ぎた今、講演で義三さんが「綺麗すぎる。」と言ったことに驚く反面、冷静に当時の惨状を考えることができた気がする。夏休み、テレビなどで原爆についてのドキュメンタリーが放送され見ることもあったが講演で聞いた話は想像を越すものだった。原爆投下は誰のせいでもない。でも生きている実体験者の方々は何かを負って何十年も苦しんでいる。考えてもそれが何なのか分からなかった。原爆は命だけでなく人々から大切なものを根こそぎ失わせた。絶対に何かあっても戦争は起こしてはならないし核兵器は無くさなければいけないと思う。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日、この授業を受けて改めて原爆の恐ろしさを知った。
 まず、皮膚がびびると摩擦で痛くなるというのに驚きを感じた。
 たびびりて助けようと手をさしのべてもその手からすり抜けてしまうくらい
 だともう感覚さえ無くなってしまふのではないうかと思っていたしほとに
 痛いというのには全く想像がつかずからた。だから被爆者の人
 たちは本当に想像をはるかに超える苦しい経験をしたんだと思つた。
 八日目になると「慣れ」が生じるとおっしゃるが本当に信じられないう
 思つた。道端に骨があつても何とも思わなくなつてしまふほどの当時の日常は
 今の私たちの日常と違ふが、考えに考えることが出来た。
 以前、私はテレビで原爆投下を成功して3ヶ月の人が喜んでる音声を
 聞いたことがあったが今日、先生は3ヶ月の人にも見るに見れないうこと
 言つたこととおっしゃる。投下直後、投下した側はどんな気持ち持らな
 いたのかもすべし知りたくなつた。もしウラニの量が60kg全量を使った
 としたら、私的にはもっと広範囲に被害が及びないう地は
 無くなつてしまふと思つた。少なくとも死亡率は100%になつてると
 考えられる。私は今日、恐ろしとか驚きとか苦しいとか同情した事と思つた
 が実際に被爆した時の時代にいた訳ではないうから辛うじて0.1%
 くらいしか理解しあえられないうけれど、この思いを共有し2度と繰り返さな
 うにすつたのに私たちが共有し発信していく使命があつたと思つた。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

広島と長崎に原爆が落とされて、どれくらい被害があったのか、どれくらいの人々が亡くなったかは知らない。しかし、身の回りに実体験、経験した人はいらぬ方が話を聞かないのは、初めはいい。原爆が落ち、即死した方、苦しめ、亡くなった方、亡くなった方、後遺症におかされた方、被爆を受け、寿命を短縮した方、戦争経験に悩む自殺した方、全くなりの最期の時、何を思い、何を伝えたか、それは私にその人達の思いを理解する事ができない。全く関係の無い国民が巻き込まれ、何かその戦争の「得」をえたのか？ 死を想像しに比べる人々の未来を突然大人、日本の偉い人が決めた無情な戦争、のせいで、生きながら命を奪ったのはやらないと思う。私は、特に今日、受講して「生きながら兵隊」から見て考えてみる視点で学ぶ。命令だからこそ出来た現状を受け入れ作業するという任務、一人一人が亡くなるという前提、今、沢山の人が悲しむとすが、この時代、私は、見知らぬ人、知らない人の心を傷つけること、心や脳に深く、苦しい傷を作るという事でおぼえてきた。一度、若い頃に此の経験があると、一生かかっているかもしれない。記憶は、忘れたら忘れることができない。それは、最後、お父さんの悲痛な思いとこれに、今更にはこれに、本音、本音の辛い経験だったこと、薄く理解した。そして、この思いが固化したのは、戦争で核、外交と向き合っていくべきではないか、一生、抱える問題だとおぼえてきた。

今年、戦争を経験した人が少なくなると、私の祖母と、話して、おぼえてきた。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日の講演を聞いて、本当の事を知れました。原爆資料館に置いてあるものは逆に過度に表現しているのではないかと内々思っていました。でも池田義三さんが「きれいすぎる」とおっしゃったという事を聞いて被爆された方、原爆によって亡くなった方への申し訳ない気持ちと同時になぜ資料館はありのままを伝えないのだろうかという疑問もこみあげてきました。

そして、原爆を落とす候補地にも京都が入っていたのは知れていましたが、横浜が入っている事は知りませんでした。なのでとても驚きました。もし横浜に原爆が落とされていたら...と考えると今の自分はいないだろうと思ひ、ヒヤッしました。ヒヤッとした事はもう一つあります。それは核爆弾が世界に1つもあるということです。小さなゴルフボールほどのウランが入った爆弾であれだけの大切な命、建物などが無くなってしまったというのに、それが沢山あると聞いて危険は身近なんだなと思いました。いつどこで爆弾が落とされるのか分からないこの世界への恐怖心が芽生え、世界中の人たちがお互いを信じる事ができれば爆弾を持たなくて済むのに。と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私が今回の特別授業を通して特に驚いたのはアメリカの原子爆弾投下の計画の細かい考え、そして原子爆弾の大土・重土・熱土です。原子爆弾投下都市の条件の3つの内の1つ空襲が今までなかった所という所に私はひどく心を打たれました。空襲が今までになかった所 = 爆弾の恐ろしさも体験したことがないため知らない人が多い所、でも私はおいしくしました。そして広島・長崎の人は一瞬にして家族を失う経験もされてない人が多数のため、本当に悲しかっただろうなと思いつつ私は今家族が全員あつまり生きていくことの大切さにも気が付けました。私の祖母・祖父は小倉の近所に昔から住んでいました。もし小倉に落ちていたら今の自分は存在しない確率が高いです。なので私は今自分があつまり生きていくことの大切さにも気が付けました。

私は夏の暑い日、毎日のように暑い暑い文句を言います。しかし、今回特別授業を受講し、3000℃の熱が自分の体に当たることを考えられないようなことで夏の毎日暑い暑いと言っていた日々がほろかしいなと思えます。全身やけどをしてモトラックに乗せられて頼むのは本当に生きていたいという気持ちが大いかなんだなと思ひ私はそれにも昔の人はあついなと思ひました。私は今回の特別授業受講して今自分・自分の家族があつまりに生きられる環境、生きる希望をあまりぬけないことの大切さにも気が付けました。ありがたうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/13

特別授業を受講して、原爆が今までよりもさらに怖くなった。4七もの黒い物体が空から落ちてくると想像すると足がすくみそうになった。

被爆の候補にもし横浜になっていたら、現存の横浜はここまで豊かになつていなかったかもしれない。かといって広島に落ちていいわけではない。

ウランが60kg分核分散したら被害地はもっと広がったであらう。世界ではウランを持っている国がいくつもある。次に戦争が起きたら、その国はなくなってしまうと思った。

アメリカは、また同じことをしようとしている。もう2度と戦争、核兵器使用をしないでほしい。そう思わされる授業だった



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回の講演で自分が思っていた以上に原爆の恐ろしさを
知りました。先生が原爆が落ちる瞬間を声に出したとき、
とても大きい音だったのでびっくりしたのですが実際には
広島で急に大きな音で原爆が落ちたのだと思うと
広島の方達は動揺したのだと思います。

一番おどろいたことは、原子爆弾には60kgのウランが
あり、そのうちのたった2kgが燃焼しただけであんなに多量
の命を奪ったのだと思うと恐ろしく、怖さしかありません。

でも、また2kgだったからいいものの、もしも60kg全部が
燃焼してしまっていたらどうなっていたのだろうか...

想像することもできません。

原爆から命を奪わずに助かった人は、負傷している人の手当
など、大変だったと思います。今日のお話して聞きましたか
けがをしているところにウジがわいたり。治療をする側も
本当にかわいそうだなと思いました。

多くの人の命を奪い、多くの人を困らせた原爆は
決して忘れることのできない出来事だと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日のお話を聞いて被爆者の様子を聞いたことが一番印象的でした。手を差し出したのに皮膚がはがれてしまっ、声を上げていたことやゆきの所がすくて痛いために手を斜め前にぶら下げて歩いていたことなど話を聞いているだけで悲惨であり、今のこのような環境で過ごしている私には想像が尽かないなんとも言えない気持ちになりました。

また原子爆弾の威力についても驚きました。表面温度が7000℃もあり太陽の表面温度より高いことに驚きました。太陽がたった600mの近さにあったらと考えるともう熱いでは表し切れません。そして、その温度により一瞬にして蒸発・炭化スミになってしまった人が79人いたということも驚きました。原子爆弾を落としたエノラ・ゲインにも衝撃波がきたということも考えるとあまりにも大きな威力だったということが分かります。また、死亡率40%という数字は、原爆の威力・悲惨さを改めて物語っていると思いました。

しかし、今この地球上には広島に落とされた原爆の1000倍、1万6000発があります。恐ろしくてたまりません。しかし私にはどうすることも出来ません。今日聞いた話などを忘れないようにする。それ修学旅行で生かせたらと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私が中学2年生の頃 家族で広島に行き、原爆資料館に
行きました。被爆された方の持ち物や、やけどの傷、放射線とあいて
しまった人の写真、原爆の威力が書かれたもの。これら全ての資料は、中学生
の私には目をそむけたくなるようなものはかりで、どれも強張りでとてもよく覚えて
いました。しかし今日原爆先生のお話を聞き、私が2年前に見た資料は
生々しいものであり、被爆してその光景を実際に見た方々にとってこの資料
などは、あくまで再現されたものなのだと改めて思いました。

今まで原爆については歴史の授業やニュースでしか知る機会がなかった
ので、実際に原爆について深く知ることができていたのが、熱線
衝撃波、放射線とこれらどのような被害を与えたのか、原爆をつけた
爆撃機、投爆する果の候補やその理由についてなど、詳しく知る
ことができました。他にも投爆した側の米の考えなど、分かっていなかった
部分のお話も分かりやすかったです。私は日本人として原爆について知らな
くてはいけないことを知らずに生きていたことに気がつきました。今日のお話
を心に留めて広島へ行くときには生かしたいと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

まが、一番最初に、原子爆弾が落とされた時の効果音
 にとても驚いた。私のイメージでは、投下されて爆発する
 時、にがい音がしてそこからすぐに熱風がきて
 くるという印象だった。しかし当時は実際もっと激しい
 音がしていた事や、音速よりも速い衝撃波の速さは、
 一瞬にして広島市に広がり、99%の人が犠牲に
 なったのだとわかった。また、水に入っても助からないという
 状況を考えて、逃げる道もなかったのだと思う。また
 今の時代は、自由に発言する権利があって、国の言っていることを
 批判することもできるけど、人かどうかもわからなくなった遺体を
 運んだしたり燃やしたり精神的にかなりつらい事を
 「軍に言われたからや、そのけることができた」と言っているのか
 信じられないほどだった。自分の中の人間性を殺さな
 ければできないことだと思う。また、それほどの軍が絶対的
 な存在であったということもわかった。^{普通の}人間をそんな風に
 してしまふ戦争は、本当に怖いと心の底から改めて感じた。また
 原爆を実際に投下する決断をした機長や兵士は、後の
 広島や長崎の写真を見て聞いてみてどう思ったのだと思う。
 原爆が戦争を終わらせる最善の方法だとは思えないし、実際の所
 投下した本人たちもそうは思っていないと思う。何の為、誰の得になった戦争なのか
 今にわかってもらえないと、二度とくり返しては、いけないと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は「原爆」があったという事は知っていました。私の知っていた知識は、真実は二つにお集まり、むくむくと黒い光が強くて「カーボン」と呼ばれ、熱くて人間がひさびさな事になつていったというお話を聞いたものでした。今日、真実に長い間一人の方を物語のようにその話を話して下さいました。皮膚がやけたため、さわるだけでさるりとおけしめ、まるで人間とは思えない、人間のような物が爆心地に近づくほど増え、その様子がさらに悲惨になつていった、私は聞くだけでも、想像するだけでも、恐ろしく感じました。それとともに、本当に私の国で起きたのかと信じたくないような信じられない気持ちになりました。その後、原子爆弾が落とすにつれて詳しく話して下さいました。太陽よりもさらに熱い熱が地上600mにあり衝撃波がそれとともに発生した。衝撃波は地面からはね返るため2回起きた。熱で水分が蒸発するうちに、人間の体中の水分が蒸発し、衝撃波でこたごたになつた。目の前にいる人が一瞬でいなくなつた。よく分からなかつたと思つてました。ありませんでした。1kgのウランがこんな町ひとつをなくしてしまうんです。私は聞いたばかりです。実際は体験した方が話しているときの気持ちとは比べべからなかつたと思います。「はじめのそのもの」言葉をいくらつづけて話してもその方が体験した事すべては分らないです。しかし、こうやって私達のように後世に何時の間にかけて丁寧に話して頂いたことを感謝したいです。私のお話を聞いた知識は立体的になつたような感じがします。伝えてくれてありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

/

私は今まで原爆についての本を読んだり、それを歴史として学んだ事はあったものの、その悲惨さ、凄惨さについては無知に近い状態であったことを今日の授業を受講して感じた。人間が人間とは言い難い筈になり果て、今までの人々の生活、生業が崩れて跡形も無く消え去ってしまった瞬間を目の当たりにした人々の面々難い苦痛、そして無力感を思うと、今こうして私達が毎日を普通に送る事ができるのは決して当たり前な事ではないのだというのを痛感する。

現在日本以外の国では原爆は第二次世界大戦を終らせるために必要不可欠であったとする見方が大半を占めていた。今日の講演を聞いても感じたが、アメリカの兵士では大きな使命感を持って原爆投下を遂行した人々がほとんどだったと思う。しかし、その中には^{の犠牲者として}後々苦しんだ人も多く、そのことが海外のメディアで取り上げられるのを時折自覚する。昨去は現役大統領の広島訪問が、原爆に付随他国の考えが変化する転機となったと思う。これを機に、世界の人々からも原爆投下という裏面の上の事実だけでなく、その中々何が起きていたのかという「内側の事実」について触れ、私たちが一緒に考えていくきっかけになれば良いと思った。

今日の講演は
 ✓五月に実際に広島を訪れるにあたり、体験者の目から見た原爆を知る良い機会となった。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆というものに対して恐怖は持っていました。8月6日にため
とテレビでは原爆の話があるが、平和について考えせられるからです。
しかし、今日の話を通して、私の今まで持っていた恐怖はとてども爆然として物
だ、たことにまがまがしい。テレビや学校の授業などで知る「原爆」と
原爆先生が話していた「原爆」があまりにも違っていたからです。もちろん、
テレビや学校で学んだ原爆もとても怖いもので何万人もの方がせまり、被爆者
として辛い生活を送る方がたくさんいること、あつやが焼け野原になり死体
などがその中に転がっていたことは知っていました。しかしその時何があつた
のか、その時いつ人々は何のためにしていたのかは詳しく知りませんでした。
軍の指令により、兵隊などは今では被爆地をまわら行、てはいけませんと
言われるような爆心地へ行き、どんなに辛い思いで死体を運び燃や
すか。人々は何んな思いで死んでいたのか。それもこの人々がどんな
悪い事をしていたのか。そんな思いが頭にどんどん浮んでまわりました。
ま、と、私がどんなに考えれば、そこで体験した人の恐怖には到底
おぼつかないと思います。しかし、二度とくり返さないでほしいという気持ち
は一緒なのでほしいかと思っております。世界にはまだまだたくさん核兵器
があります。しかし、その恐怖を体験したのは日本だけですが。この日本から
どんなに原爆が怖い、そして二度と投下してほしくないかを
伝えたいと思っています。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

/

自分は広島市の原爆について知ったつもりでした。でもそれは時代背景や原爆投下の日時などだけだった。当時の被災地や被災者の状況を体験した方の口から聞くのは初めてだった。話を聞いている途中、私は小学生の頃読んだ「まだしのゲン」と思い出した。ふかかった私にはあまりにも内容が刺激的だったのを覚えているものの、体験者である池田義三さんがそんな生易しいものではない。絵も言葉でも表現できない言葉に「苦しみ」「悲しみ」「痛み」は、王と二の先生たちに資料を調べても、見ても聞いても今の人々には一生共感できないものがあったと感じた。

歴史を学ぶ上で、この原爆について様々な意見がある。もちろんそれ以前に国同士の何が起ったかや、何のために原爆投下するのかと矢張り必要はあるが、まずは日本人として、純粋にこの原爆が日本に何をもたらしたのかを今日は学べた。

1/4トンポーンに積まれた60kgのウランのうちたった1kg、ゴルフボールほどの大きさのウランが35万人いた広島市の人口の40%の人を殺した。もし60kgがフルに使われたら、現在各国が対峙している核兵器が使われたら...

と考えると、自国の利益を考えることは、他国だけでなく全世界を破壊させる第一歩に近づくのだと考えた。どんなことがあってもそれだけは避け、第II大戦(原爆)と同じ過ちは決してほいではない。そのためには体験者の言葉に耳を傾け、歴史を学ぶ、"自国"と"他国"という境界を作らないこと、それが「平和主義」であり、



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原子爆弾が投下されたという事は知っていたが、どんな
原爆かどの爆撃機によってかは初めて知った。
また候補に選ばれた都市が6つもあったのには驚いた。
広島だけだと思っていた。広島に投下された原爆
の名前がなぜ「リトルボーイ、小さな少年」という意味
なのか疑問に思った。私も原爆はパラシュートによって
ぶらさげられていたと思っていたがそれは間違っていた
と知りよかった。「ラジオゾンデ」という気象などを計る
物がパラシュートにぶらさげられていた。長崎の原爆
投下の前に小岩で3回も原爆投下失敗していたという
事は初めて知った。大さんじにやらないうと知られたら
い、学校で教えてもらえないのだからと思った。熱線で焦げ、
衝撃波で飛ばされて人が消えたという聞き、おどろき、恐怖
を感じた。たったウラン1kgによってこんなにもなってしまう
のは怖いし、二度とあってはやらないうと思う。池田義三さん
のビデオを見て少し泣いてしまった。話しを聞いて
いるだけでも怖かった。資料館の中にあるヤケとを
して戻るかほかれていた女性を「こんなきれいな女性い、
と池田さんは言っていたそうでこれよりひどい状態が私には



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

最初的时候に原爆先生のお父様が17歳から徴兵されたと聞いて徴兵令は20歳を過ぎてから全ての男子命令を出されるものかと思っただのでそこで少し驚かれました。原爆投下に条件があったことや候補地に横浜新潟京都が含まれていたことを本日の講演をお聞きするまで知りませんでした。本日承知の事が出来て本当に良かったです。9日間も消火担当や沢山の支援をして大変だったのだらうと思います。リトルボーイ(小や子供少年)の他にエノラゲイやフラットマンという原爆機があったということも本日まで承知しておりました。原爆かとても怖いという事は承知しておりましたが、大体の速さを承知することが出来て本当に良かったです。熱線かどのくらいの熱さなのかを承知することが出来て本当に良かったです。私は実際に体験してはおりませんが、どのくらいの方が被爆して亡くなったのかを承知することが出来て良かったです。原爆ドームでどのような感じだったのかを体験したいです。義三さんの話をビデオを聞いた時は涙がぽろぽろとこぼれまわりました。体験した人の話を少し聞くことが出来て本当に良かったです。大切な思い出となりました。

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今まで原爆についてのお話を何度も聞いた事がありましたが、正直な所、今まで聞いていた以上の悲惨さを今日のお話で感じました。

今まで、原爆を無くすべきだ、とは何度も思っていました。私はどちらかといえば後遺症に苦しむ人ばかり目に向け、その人達ばかり考え向けた感情です。私は無意識に原爆を落とされた時に無くなつた人から目をそむけていたのだと思います。後遺症で苦しいのなら、その落とされた直後に死んだ人母どのように亡くなるのだらう？後遺症ですら今なお苦しむ、その子供達にまでおよぶモノ、これは落とされた時、直後に亡くなった人母どのほど苦しかったのだらう？たぶん「人知ることか」怖かったのだと思います。人の事を今日のお話を聞いている時に気がつきました。

死んだ後、何も残らない。私は私は二人の世界だけだと思っていました。何度も身内のお葬式に参加し、お骨も拾いました。死体は燃やせば骨になる。それが私の中の一般常識でした。火事で亡くなった身内も骨だけは残っていました。骨すらも残らず、文字通り跡形もなく消える。その人が本当に居たのかすら分からず、恐い、と思いました。怖い、と思いました。皮膚が焼きた。灰、灰、と残る。これは私の中では二人だけでした。肉も骨も見えない。現実にあるなんて思ってもおれず、たいては戦争や原爆を怖い、と思ったり。けれども私はそれ以上に人を作り出して、人間を、科学を怖い、と思ったり。自然に生きていたのを、生かして生かされたモノ。人を作り出した人も人の好奇心も怖い。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

/

1945年頃は私の祖父母がいた小学校低学年くらいの年齢だったと、聞いた記憶があります。祖父母が経験したのは広島や長崎の原爆ではなく、横浜での空襲でした。祖母は火の中を母親と手をつないで懸命に街の中を逃げ、祖父は兄弟達と疎開していたという話は聞いたことがありません。今回の特別授業で何より驚いたのは、原爆の温度というものが太陽の温度よりも遥かに高い温度であったこと。それ以外にも高温の熱が広島を襲ったこと想像もできません。もし、もう少し天候が悪化していたら原爆が落とされたかもしれないと思えば運命の怖さを改めて感じます。以前、映画「母と暮らせば」を観たことが、最初のワシーンで学生達が授業を受けている途中に空が一瞬だけ光って、それと同時に学生達が消え、その後には暴風が建物や破壊されるシーンがありました。映画は一瞬でした。そのほんのわずかの一瞬の出来事が今回の特別授業で詳しく恐ろしく伝わってきました。皮膚が剥がれて空気に触れた感じが痛いと思うと今自分が重くのも怖くなるほどあまり想像しにくく感じるほどでした。今、私たちに直接死が聞けるかもしれないのは災害です。特に地震が一番、私にとって恐ろしいものです。自然災害は防げるものはありません。戦争等は災害に比べれば減らしていけるもの。私は元々高校生ですが、他国との交流がもう互いにうまくいけば良いと思うので、平和を築いてほしいと思います。ぜひお話しを、今できることは何も起らない平和を築いて毎日感謝するところから



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今までに聞いた原爆のお話の中で、一番生々しく、印象深いものだった。

陸軍だった池田さんが体験したことば、聞いているだけでも、恐怖を感じた。被爆者が苦しんでいる中、助けることができなかった池田さんは、とてもつらかったと思う。また、班長であることを背負いながら、つらい任務を行うことは、私には想像できないくらい、厳しいことだったと思う。原爆投下から60年後、資料館での「きれいすぎる」という言葉が印象に残った。

原爆についての説明では、原爆がどれほど強大な力を持っているか、やきのこ雲がどのようにしてできたかを知った。現在、世界には広島に投下された原爆の1000倍の力を持つ核兵器が1万6000発もあることに驚き、怖く感じた。原爆を投下されたのは、日本だけなので、日本人である私たちが、原爆について知り、世界へ伝えていかなければならないと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

実際の体験談があったので、今まで聞いた広島のこと一番理解を深められた。現代の高校生は戦争を体験したことがないので、日本「大変な出来事」として悲惨な出来事」くらいにしか思っていない人はたくさんいると思う。本当にこの戦争を受けた人、被爆者の方口にしては思いだしたくない過去、受け入れがたいものだったと思う。つらい過去を話して下してそれを自分自分でしっかりと止めて、後の時代に伝えていかなければならないと思う。被爆者の方の直接の音が聞けることはありがたいこと。この事実を自分で考え、二度と同じ誤りを繰り返さない、そして原子爆弾は人の一生、また家族の一生を一瞬にしてなくしてしまうもの、おそろしく残酷なものということに、忘れてはならない。この体験談を聞けるうちに、世間では思わぬ真正面から向かわなければならぬ。

今日見せていただいた写真の中で私が最も印象深い2枚の写真は女の人が手を拭いている写真と男の人の陰の写真だ。3000℃もの熱風、衝撃波で一瞬にしてしまいいなくなってしまう(灰になっちゃった)男の人は想像を超える衝撃の写真であった。強かな爆弾だし、もう原子爆弾を使うのは広島で最後にしてほしいと思う。同じ人間なのに男か女の区別もつかない、皮膚が「ワッワッ」そんなことはあってはならない。原子爆弾はもう使ってはならない悲惨で残酷なもの、そのことをどんどん後の時代に伝えていかなければならない。平和に一步近づけることが望ましい。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

/

今更、広島や長崎の原爆の話を聞いて、聞いたことがなかった。そのため、その当時の状況や情景がよく分かった。また、とてつもない原子爆弾とは何なのかがよく分かった。

候補になった都市は67あり、その中に横浜が入っていたことを知らなかったの。驚いた。私、小倉という都市が第二候補であることは知らなかった。そして、原爆を落とすのも特に行かぬこと。広島や長崎、また小倉は果敢の様にあったと私は話を聞きたがりました。

3x4x10

被爆者の状況や原因を全く知らなかった私は、その内容を知らず、恥しくなった。とこれと同時に、学ばなくともいいかと思つた。話の中で「人のからだの骨がはがれる」ということを何回も耳にし、そういう状況の人形がある資料館の写真を見た。これを見ただけで、心臓が伝わってまた気がいたが、池田義三氏が言った「綺麗だぞ。」という言葉に分かりすぎる事があった。これは、その心臓、辛くは、体験した人ではないと分かる。その事件その人に一生残るという事。

これから私達は5月に広島を訪れ、原爆について、たくさん学ぶ予定だ。目を背れ、目を閉じたくなる事実が目の前に現れる。何と逃げずにちゃんと聞きたい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は去年の夏に父と長崎に行きました。そして、原爆資料館や原爆投下地や

平和記念公園などに行きました。行く前は、原爆のことはあまり知りませんでした。

原爆が投下された場所などくさくさしか分かりませんでした。原爆について知っていくうちに

どんどん知りたくなるようになりました。

学校でも、「平和」について考えることがあったりして、いろいろと知っていく機会が増えました。

私が行ったのは長崎県だけですが、原爆のイメージは広島の方が強いと思います。

でも、広島のことあまりよく知りません。今日の原爆先生のお話を聞いて疑問に思っていた

ことが分かりました。「なぜ、原爆を広島と長崎に落としたのだろう?」とか「なぜ、原爆の

投下目標地点から爆心地までの距離があるのだろうか?」などの疑問がありました。

今日、原爆先生がお話してくれたことが全部ではないと思いますが、少しだけでも

原爆のことを知れたと思います。これから機会があれば原爆についてのお話を聞こう

と思います。そして、今後二度と戦争や原爆を落とさず平和が続くといいなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

私は、もちろん当時生きていない身内や親せきにもこういう体験をした人がいないので、とても貴重なお話を聞けたことに感謝しております。

原子爆弾投下直後の広島の人々がどのような状態、または様子であったのか、まるで自分が実体験したかのように、とても繊細でリアルな絵を想像できました。が、実体験した方々に、まだこんな感じではないと、言われるかもしれません。

また、原爆先生のお父様が涙を流されながらお話ししているビデオを見て、正直、何とも言えない気分になりました。十分、当時の広島がどれくらい悲惨（という言葉は正しいのか分かりませんが）な状態であったのかというのを伝わりたくないのであれば、これをどうするべきかが解決できないので、時が進むにつれ、だんだんと実体験された方の数も減っていくと思います。そして、私たちが大人になり、このことについて、次の世代に話さなければならぬときが来ると思います。

なので、あまり詳しい内容を知らずに話していいのかなと思うました。

なので、これから先、ちゃんと学習して、特別授業の内容を思い出しながら伝えようと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

高校一年生に於て「平和」を学んで、戦争や紛争の話と一年間やりました。この原爆先生の話と聞いてさらに現実味のある話だからと、思い出した小学生の時、から。「原爆」「広島」「長崎」など分りやすいワードしか知らないうちに、高校一年で日史、世界史の勉強を通じて、「どうして日本はこんなひどい事を起こせるのか」と疑問を持つようになった。様々な原爆や戦争についての講演を聞いて、日本が原爆を落とされる原因も分りました。私は日本が原爆を落とせば当然の行為だと思っていた。ただ、今回の講演を通して、広島、長崎、そして軍隊の細かい実録を聞いて、これは原爆を落とせば当然という前に、絶対に戦争自体をしない方がいいと思っていた。高校一年生で知った私はこの現実を受け取るのが少し遅いなと感じました。もし小学生や中学生の時、から、何らかのワードだけ覚えるのではなく、戦争をきちんと知っていたら、私やりの見方、世界の見方が変わっていたと思うし、また、この講演を聞いたのは高校生だった人にもいると思ふ。私は「戦争」「原爆」「平和」とも考えた人の中に、世界の平和の不利な方に考えられる世の中にいたいと思ふ。これからも講演がんばります。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆について何の知識も持っていなかった。たのた

今回のお話を聞いて実感しました。最初に聞いた義三さん

の体験談では、聞いているだけでも顔が引きつってしまうような

エピソードがたくさんあり、その話だけでも十分に原爆について

理解ができた気がしていたけれど、その後の資料をもとに

説明して下さったことで、より鮮明にイメージすることができました。

広島と長崎に原爆が落ちることになった経緯を聞いて、私は

京都に落とすことを断念した理由の中に「文化財がたくさんあるから

壊しては行かない」というものがあることに驚いたし、戦争をして

相手に何故そのような気遣いをしたのか疑問に思いました。

そういう理由で京都を断念し、本当に様々な偶然が重なって

長崎に投下されたのだと思うと、何と複雑な気持ちになりました。

また、原爆投下による被害についても驚いた点が多くありました。

太陽の表面温度よりも高い温度に行ってしまうこと、音速よりも速い

衝撃波が来るということ、広島市での死亡率が40%だったこと

など、聞いたお話は全て私の想像以上でした。

最後に義三さんのビデオを見て、実体験者の方にとっては

戦争の話も次の世代の人に語り継ぐのはとても辛いことだと思

けれど、実際の声を聞いて戦争を忘れないということはとても大事なことだ



原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して、広島と長崎に起こった
原爆の恐ろしさを知りました。以前から、新聞やテレビなどで
色々なお話を聞いてきましたが、今日は池田義三さんの実体験
も含めて聞くことができて、原爆が落とされた時の場面に
今まで入り込んでいけたのではないかと感じます。
町が火でうめつくさゆるとは聞いたことがあつたが、あんまり
いっきに火の波がおしよせてくるとは想像していません。
当時の兵士の思いや、焼きたただれた人々の扱ひや、死体の
処理などの仕事は想像を絶するものでした。特に原爆投下
の場所と行ったのは本当に偶然の出来事だったと、不思議にも
程があとと感じました。さらに、当時の爆弾のウランは60分の1
しか核分裂しないが、現在は当時の1千倍のものが1万6千発あ
ると聞き驚いたのと同時に、この原爆は本当に人ごとでは
ないと改めて感じました。またまた、分かっていない部分、知ら
ない部分、人ごとだと感じておられる部分があります。ですが、
修学旅行でもう一度くわしくお話を聞き、当時の事を知り、
考えたいと思います。
さらに、今年、この場所にはオバマ大統領が来たということがどんな
事だったのかということが分かって、どうお身がしました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

義三さんの実体験のお話は聞いていてその時の様子を感じられる
ような表現で、やけどによって皮膚がはがれしまったり、体が真っ赤に
なった被爆者の悲惨さ、遺体を燃やす所へ運ぶ時に感じた
ものなど、想像しようとしても、私たちには出来ないことが、少し感じる
ことが出来た。今まで原爆の話を知っていたことはあったが、
聞いていてぞっとするようなその当時のリアルな様子は初めて聞いた。
また、原子爆弾の投下都市の候補に自分の住んでいる横浜があり、
もし、横浜に投下されていたら、どうなっていたのだらうと考えしまった。
長崎に投下した話も聞くと、どの候補都市に投下するかは、気象など
偶然、条件がそろっただけで決まったのだと知り、その時の
様子だけで、現在の様子が書きたかもしれないと思った。
私たちが原爆資料館に行って展示されているものを見ると、
目を背けたくなるものが多いと思うが、本当はそんなにきれい
なものではないと言う義三さんの言葉を心にとめて、しっかりと
展示されているものを見たかった。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆で生き残った人と亡くなってしまった人の差というのは、
運が良かったか悪かったか、ということが決定的に違っていたのだと
池田さんのお話をきいて思いました。その時にいた場所がもしも
運良く被害から逃れられるようなところだったら、逆に、もしもその時
爆心地に近いところにたまたま居合わせたら... という理不尽な
運命で、命を落としたり生きていられたりと命が左右されたのだ
と感じました。長崎に原爆が落とされたのは、4つの偶然が
重なった結果であるとして池田さんがお話されたとき、特にそのことを
強く感じると同時に、そのような偶然でたくさん命がなくなった
ことに心が痛めました。

また、池田さんの父である池田義三さんが「原爆資料館で静かに
つづやかかれたという言葉が、とても印象に残りました。資料館に
展示されている当時の様子を再現した模型を始めに私が見たとき、
私はその様子に激しく恐ろしさを感じました。しかし義三さんはその
展示品を見て「きれいすぎる」と言っていたと池田さんはおっしゃっていました。
そのことから、8/6、8/9の原爆投下を実際に体験した人が当時
どんなものを目にしていたのか、どんなに辛い惨状を目の当たりにして
いたのかを感じられ、本当に悲しく思いました。私たちが知っておかな
ければならないことを今日授業として受講できて、本当に良かったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、今まで原爆の話を色々な場所で聞き広島にも訪れ原爆の事を自分で理解していたつもりでした。しかし、原爆先生の授業を受講して来た。私が知らない事が沢山あることに気がさせられました。私が広島の資料館に行った時、すべての物が痛々しい姿ずっと見ていられない物が多くその場を立ち去ってしまいあまり見る事が出来ませんでした。池田義三は本当にあの原爆時の状況あまりにもかけはなれているとおっしゃいました。私は、あれよりひどい状況はまったく想像が付きませんでした。展示されているものでもとても恐ろしく怖い物でした。原爆先生が話して頂いたお話で印象に残ったのが池田義三さんがヤけどをしている人をつかみトラックにのせよとした時腕の肉がはかれてしまったという話です。想像するだけで島肌が立ってしまいました。それを聞くだけでどれほど原爆が悲惨な物なのかとても伝わってきました。

私は、毎回このような原爆の話を聞くたびにあまりの悲惨さにまずく原爆の事に向き合えず先ほどお話ししたように目をそらし立ち去ってしまいます。しかし、この時ではいつまでたっても原爆の事、原爆の被害にあわれた方を知るが出来ないと思いました。原爆先生のおかげで向き合わなければならぬと思える事が出来ました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

自分が今まで知っていた知識は本当に少く、想像を果かに越える出来事があった。広島・長崎には起こったのだと
思っていた。

原爆を落とすのには、落とせば一番効果が見られる土地の特徴を考えた。広島・長崎は本当に原爆の威力の突如とした。広島・長崎を理由にした。思っていた。原爆の威力は被害を受けた人が一番分かり易い。被爆者の声が減る。途中で、話を続けたい。お話をされたことでも学びたいと思っていた。

日本の人に原爆を知ってもらい、次に他の国の人にも原爆について知ってもらいたい。そして原爆の被害を受けた人が増えたい。

今日は本当に話をしてくれて、ありがとうございます。

私の身近に被害を受けた人はいたことがとても良い機会でした。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆がどんなにつらくて悲惨なのかがよく分かった。今までテレビで原爆について特集しているものや記事を読んでも、あまり自分のこととは思えずにいたが、原爆先生のお話を聞いて、もしその時、そこにいたのが自分だったらと、自分のことのように考えることができた。言葉で聞いているだけでもつらく、悲惨なことだと思いのには、被爆者が体験した痛みや苦しみ、見たものは言葉では言いあらわせないのだと思う。原爆で人の姿が消えたこと聞いて驚いた。原爆が人の姿を消すほどの高熱であつたかを具体的に知ることができた。たくさんの方が原爆で亡くなり、更には骨も残らなかつたことを知り胸が痛んだ。また生存しても、その時そこで見たものを思い出し今もお苦しんでいる人がいるという現実を知った。こんなにつらく悲惨であることを知っていても核兵器を所有している国があることを知り、自分にはなにもしない無力さを痛感した。これから先、核兵器が使われないうちに今回聞いたお話をまた自分も次の世代に伝えていけたらよいと思う。自分にできる「平和」をつくり出す方法を探して生きていければよいと思う。一日でも早く核兵器がこの世界からなくなればよいと思う。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

小学生の時に一度原爆について調べたことがあったので、今回先生の話を書き
思い出すことが多々あった。去年の夏、私は家族旅行で初めての広島に行き
原爆ドームや資料館をめぐった。Tさんの遺品、写真、模型などを机の中で
やはり一番強く衝撃を受けたのは、入館してしばらく歩き角を曲がると右手に机に
被爆者を再現した像があった。少し風を受けた揺れているボロボロの衣服や前に伸び
た指先から垂れる皮膚など、思わすかたまった。入館した時から隣りにいる
ハラハラと会話し続けていた外国人の方々が息をのぶのがはっきりと分かった。悲愴だ
と思った。でも先生のお父さんが「きれいすぎる」とおっしゃったというのを聞いて、自分でも
よく分らない感情がわいた。先生の話で、事実を知り、当時の本当の状況を鮮明に
想像し、とても苦しかった。助けたくても助けられない立場にある者のつらさ、人とは思えな
いような姿で地獄の底からもがき苦しむ者のつらさの2つを感じ、恐怖を感じた。
日本への投下は決定事項だったのだ、偶然か必然かわからないが様々な偶然が
重なり投下され、生き残った者、重軽傷をおいた者、死に至った者に分かれた。
先生のお父さんが動画で実際に話して下さっている時、昔、当時を思い出して
涙をこらえる姿がとても印象に残った。世界には広島に投下されたものの約1000倍
もの威力を持つ核爆弾が16000発存在することをとても恐く思う。
自分で調べるだけでは知ることはできない、当時の、実体験者の方の話を書くことが
とても本当に幸運だと思ふ。伝えられる方が減っている今、いなくならないように
後に残せるようにしっかりと学ぼうと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

このお話を聞いてタイトル "7000℃の少年" の意味がわかった。
今後に原爆にフタのお話を聞く時があり、どのようなものだったのか
どんな影響を受けたのかなど知れたがこの機会におそらく
深く知れた。もし原爆が他の所に落ちてればその人達や
長崎・広島の人達の運命が原爆にまた変えられると思うと恐ろしい。
原爆先生のお話で顔や体、やけどを負った人、皮膚がただれ
落ちる人がいたというのを聞いて私は驚いた。しかし
原爆を体験した池田義三さんのこの光景を目の前で見て
その時に感じた事が今でも受け止められ続けていると思った。
階段にしゃべっていた人が熱線と衝撃波にまた一瞬で消えて
そこに影のままでいるという事が写真を見る前までは想像が
つかなかったけれど、見たらまた人が座っているような形をしていて
原爆の威力がやっと思いあたった感じがした。広島県の死亡率
40%、5人に2人は亡くなったことがもし今起こらたらどうなる
のか想像が何もないけれど、皆その時と同じような行動をするの
ではないかと思った。このようなことが繰り返すなら平和に近
づくにはどうしたらいいかと思ってしまう。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回、原爆先生の授業を聞いて、自分の中の「原爆」というものがいかに小さく、
 小さいものであったのかが認識できました。私の中の「原爆」は、広島を焼きつめた。
 たくさんの人が亡くなりました。戦争でアメリカに落とされた。程度でした。でも実際はもど
 ひどいもので、もちろん認識が合っているところもありました。が、規模の違っていました。
 アメリカが広島に落とす前に、原爆投下のことを考えてみたが、広島や長崎に落とされ
 たのはちゃんと理由があった。原爆のおそろしは、場所やおおよそ温度をあげると
 音速よりも速い衝撃波で、それおそろしい放射能で、いつかというものがあつた。
 人間の身体が、どう見ても一瞬には消えてしまった。二の様な様子はなかった。
 少し前の日本がおもてたかと思うと、おそろしい。生き残ったの奇跡。死亡率40%。
 その様な現実があったら、話を聞かされた今でも、なにが、どうしたの様な、信じがたい
 事実です。そして、その様な恐ろしいことをおとせ、原因である、原子爆弾がまだこの
 世界にたくさんあるということが、警告でした。なん十何国かのし、まだ「わが子の」
 おかしくおとすおとすおとす、そのおとすおとす、地球におとせられた。今の技術では、地球が
 破壊されておとすおとすおとす。この世界が、原子爆弾を消して、おとすおとす、今の日本は、
 おとすおとすおとすおとすおとす、原爆を禁止おとす「非核三原則」が、おとすおとす。
 おとすおとすおとすおとすおとす、他の国も、おとすおとす、原爆を、おとすおとす。
 おとすおとすおとすおとすおとす、修学旅行おとすおとす、今回の話を、おとすおとす。
 おとすおとすおとすおとすおとす



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今まで色々な人のお話を聞いてきましたが、正直日本に本当におかれたものに
 思えず、私も自分がその場にいたら、もし死体処理をする立場に自分
 が居たらどう考えられますか。でも、今回のお話やビデオを見て、
 本当に71年前にしかも日本どこどこがおかれた恐怖におそわ
 れました。広島や長崎以外に、小倉・横浜・新潟・京都その他に候補があったこと、
 長崎に落とされたのが偶然が重なりあつたからというところ、お話を聞いた小倉に落
 ちたこと、横浜に空襲があったのも偶然が重なったこと、あつたところがあることに
 おおろそかです。原爆がおろした瞬間の映像を見て、本当に一瞬の出来事
 だったんだと思えます。逃げる間もなく、14万人の命が奪われたことがこれもおど
 ろそかです。そのうちの約2万人が被災したと推定されていると聞いて、怖くなりました。
 米のトランシーブ機が落ちてたのだから、それ疑問がまだ頭にあります。
 実際に体験した人から聞いたことかと思えます。最後にお父さんの義理の肉声の
 ビデオを見た時胸が痛くなりました。きせきめには生き残った人もその人の頭からその
 日見た景色は忘れたくないと思えます。その人が死んだ時の状況その後のこと
 まで知らなかったり理解できない世代の子供には、ビデオが役をたててほしい
 と思います。体験した人のお話を聞いて、そのことでも貴重だと思います。
 備忘録旅行で自分の目で見えて聞いて肌で感じ、日本に本当におかれたこと
 がおろそかだと思えます。今回のお話を聞いて、一層その時の広島・長崎のことを知
 りたいと思います。本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆の怖さが良く分かりました。原爆で人が人間のようではない姿になっているお話を聞いてニルが映像だ、たまたまじゃないんだ、35年と思いました。話を聞いていただけでもキツイのにニルが実際に体験したと思うと、とても怖いし、辛いです。

京都、新潟、横浜も候補になったのは知っていたけど京都が外れた理由が人間にとって重要な文化財、占領しやすくするため、日本人の感情を考慮だということも初めて知りました。

漫画の「パラシュートはラジオゾンテ」だったというのも初めて知りました。パラシュートでは風とかの影響で目的場所に正確に着かないからパラシュートがついていないという事も知りました。

原爆資料館にある、再現されているものとかも実際にたつと酷いんだ、35年とか思っていたけど自分が想像している何十倍も酷いということも分かりました。皮肉が垂れ下がっている再現のやつを見て想像していたものと違いました。最後の5分程のビデオで義三士人が泣き出してしまいました。こんな残酷なことを思いおぼしてしまふのはとても見ている方も辛かったです。

今回のことをちゃんと覚えておきたいので修学旅行の広島に行こうと思ってる。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

教科書やテレビなどで広島^{じゅこう}の原爆について見たり学んだりしているのに
 "広島に原爆が落とされて多くの人が亡くなった。" 原爆は、人、物を
 破壊する物。だと知っていました。兵士の視点から広島^{じゅこう}の原爆を
 見るということは今日が初めてでした。テレビで伝えられながら、たこと
 しかり、落とす前に、1つ1つ、ゆいゆいに説明してくれました。正直、
 話を聞いている時は、手足がふるえて冷たくなりました。見たくない
 実際の写真にも目を背けたくなりました。悲しみに胸がはらばら
 たりました。想像するだけでも本当に恐ろしいです。先生が原爆の
 ことをありのまま伝えてくれたので、改めて原爆の恐ろしさ、破壊力
 を知ることができました。そして、今、普通に健康的に生きていける
 ことに奇跡を感じるほどでした。今日の講演を聞いて
 原爆の恐ろしさ、力、残酷さを知ることができました。日本人として、
 重要な出鱈目なので、しっかりと頭の中に永久保存したいと思っております。
 今私にできることは、そのような講演を聞いて、下の学年の人にも伝
 えるようにしたいです。そして、戦争は、やめてほしい。核兵器は、使
 ってはほしい、ことを主張し、少しでも核のない世の中にしたいです。
 そのような悲慘な出来事は二度とおきないように、
 私たちの力で終わらせたいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

特別授業を受ける前と受けた後の原爆への見方、思い、気持ちが変わった。

原爆は千人の人の命を奪った、千人の人を傷つけたことは知っていた。

原爆の名前や飛行機のパイロットの名前や細かいことも知れた。

池田義三や被爆者の方々の映像、お話しが伝えられてほしいほどの感情を言葉で
いって考えただけでも痛々しく背を向きたい気持ちだった。

今、自分たちがこの時代にこの環境に生まれていることは本当に幸せなことだと改めて
感じた。原爆を投下した側の理由をもっと深く知りたくなった。

修学旅行が実際広島に行った時にレಕ್ಕリ当時のことを頭にに入れて帰ってきたこと
思う。小学校の時に学んだことよりはるかに多量のことを今日知ることができた。

今日聞いたことをいかして修学旅行やこれから自分の人生に役立てたいと思う。

